

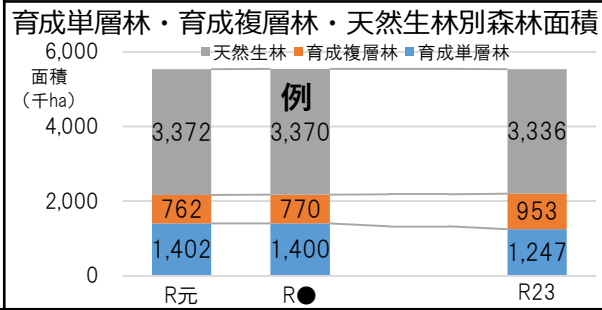
「北海道森林づくり基本計画」 の推進管理表（案）

■長期的な目標の指標ごとの検証評価

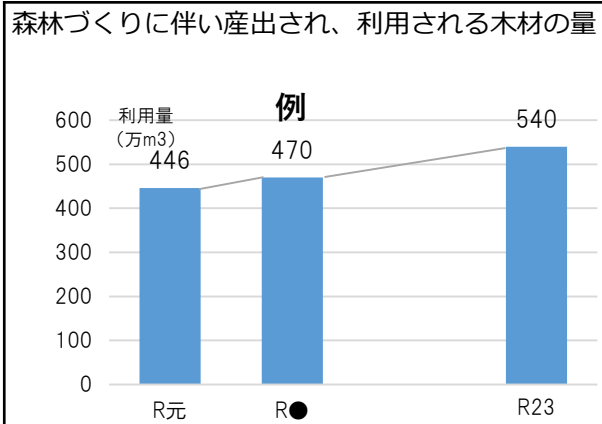
北海道森林づくり基本計画推進管理表（案）

条例の基本理念	指標値 現状値(R4)	検証評価 (○：現状・主な課題 ◎：検討方向)
目標の指標		

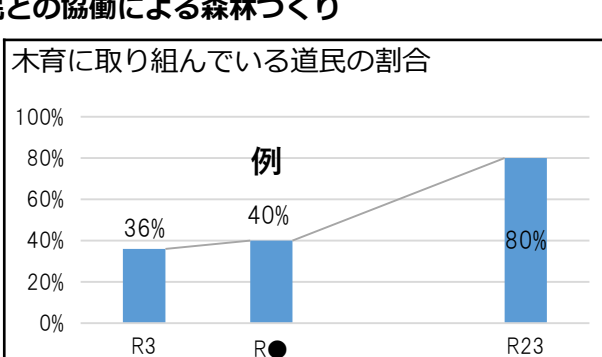
地域の特성에応じた森林づくり



林業及び木材産業等の健全な発展



道民との協働による森林づくり



■重点取組ごとの検証評価

① ゼロカーボン北海道の実現に向けた活力ある森林づくり

区分	取組内容	主な取組・実績	検証評価	
			現状と主な課題	検討方向
低コスト施業の推進				
	○ 適地での植林の促進			
	○ 植林・下草刈り作業の省力化・低コスト化			
クリーンラーチ苗木の増産				
	○ 種子の増産に向けた採種園の整備			
	○ さし木苗の増産			
適切な間伐等の推進				
	○ 手入れが行われていない森林の整備			

達成すべき指標	植林面積	令和元年度	→	令和●年度	→	令和13年度
		9,889 ha		ha		13,000 ha

■重点取組ごとの検証評価

② 広葉樹資源の育成・有効活用

区分	取組内容	主な取組・実績	検証評価	
			現状と主な課題	検討方向
広葉樹資源の的確な把握				
	○ 資源情報の精度向上を図る手法の確立			
広葉樹を活かした森林施業				
	○ 北海道らしい多様で健全な森林づくり			
原木の供給と利用の拡大				
	○ 原木の供給体制の構築			
	○ 付加価値の高い利用の拡大			

達成すべき指標	針葉樹人工林から針広混交林に誘導する面積	計画策定時	令和4年度～令和〇年度	令和4年度～令和13年度の10年間
		- ha	ha	13,000 ha

■重点取組ごとの検証評価

③ 道産トドマツ建築材の安定供給体制の強化

区分	取組内容	主な取組・実績	検証評価	
			現状と主な課題	検討方向
トドマツ資源の的確な把握				
	○ 資源情報の的確な把握			
原木の安定供給				
	○ 原木の安定的な供給体制の構築			
市場が求める製品の生産				
	○ 品質・性能の確かな建築材の生産			

達成すべき指標	品質・性能の確かな建築材の生産比率	令和元年度	令和●年度	令和13年度
		58 %	%	75 %

■重点取組ごとの検証評価

④ 森林づくりを担う「人材」の確保

区分	取組内容	主な取組・実績	検証評価	
			現状と主な課題	検討方向
担い手の育成・確保				
	○ 造林や種苗生産を担う人材の確保			
	○ 道内外へ向けた林業の魅力発信			
	○ 林業従事者の確保・定着の促進			
	○ 北森カレッジにおける人材の育成等			
	○ 体系的なキャリア形成			
林業事業者の経営力強化				
	○ 経営力の向上			
	○ 労働安全衛生の確保			

達成すべき指標	新規参入者数 (臨時を除く)	平成28年度～令和2年度の5年間	令和●年度～令和●年度	令和4年度～令和13年度の10年間
		764人 (平均 153人/年)	人 (平均 人/年)	1,600人 (平均 160人/年)

■重点取組ごとの検証評価

⑤ スマート林業による効率的な施業の推進

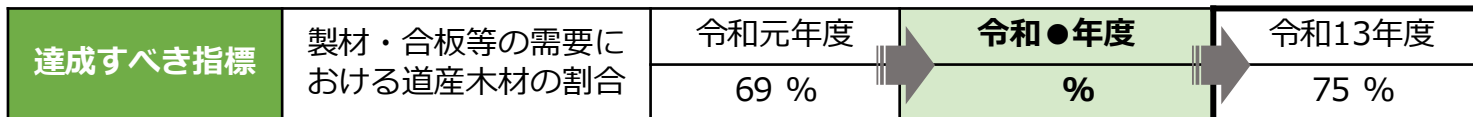
区分	取組内容	主な取組・実績	検証評価	
			現状と主な課題	検討方向
造林・保育作業の効率化				
	○ 林業機械や遠隔操作技術等の活用による省力化			
	○ リモートセンシング技術を用いた造林管理			
素材生産作業の効率化				
	○ ICTハーベスタによる生産管理の実証・普及			
	○ データ共有する通信環境の整備			

達成すべき指標	林業事業体の生産性 (素材生産)	令和元年度	令和●年度	令和13年度
		9.1 m ³ /人日	m ³ /人日	13.0 m ³ /人日

■重点取組ごとの検証評価

⑥ HOKKAIDO WOODブランドの浸透などによる道産木材の需要拡大

区分	取組内容	主な取組・実績	検証評価	
			現状と主な課題	検討方向
「HOKKAIDO WOOD」のブランド力の強化				
	○ 幅広い分野の企業と連携したPR			
	○ 道産木材のプロモーションの展開			
住宅や建築物等における道産木材の利用促進				
	○ 住宅での道産木材の利用促進			
	○ 中高層建築物等の木造化・木質化			
	○ その他の分野での道産木材の利用促進			



■重点取組ごとの検証評価

⑦ 木育マイスターや企業などによる木育活動の推進

区分	取組内容	主な取組・実績	検証評価	
			現状と主な課題	検討方向
多様なニーズを踏まえた木育マイスターの育成				
	○ 木育活動をコーディネートできる人材の育成			
	○ 木育マイスターのネットワーク化			
木育活動への企業等の参加の促進				
	○ 企業等に対する木育活動への参加の働きかけ			
	○ 企業等のニーズにあった森林づくり活動の促進			

達成すべき指標	企業等と木育マイスターが連携した木育活動の回数	令和2年度	令和●年度	令和13年度
		81回	回	150回